

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成22年11月11日 (2010.11.11)

【公開番号】特開2009-82501(P2009-82501A)

【公開日】平成21年4月23日 (2009.4.23)

【年通号数】公開・登録公報2009-016

【出願番号】特願2007-256675(P2007-256675)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 3 2 Z

A 6 3 F 7/02 3 5 0 B

【手続補正書】

【提出日】平成22年9月27日 (2010.9.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

始動条件の成立に伴って抽選を行い、所定の抽選結果が得られた場合に通常状態から該通常状態より遊技者に有利な特別遊技状態へと移行し、遊技媒体の通過に伴って所定の遊技価値を遊技者に付与する特定通過口の入口側に設けられている開閉部材を閉鎖状態から開放状態へと移行して該遊技媒体の通過を前記通常状態に比べて容易とする遊技機の外部に設けられ、該遊技機から受信した各種信号を用いて該遊技機に対する管理を行う遊技機の管理手段において、

前記遊技機から、通常状態にある場合に前記特定通過口への前記遊技媒体の通過が検出されたことを示す閉鎖時入賞信号を受信したかを判定する判定手段と、その判定手段により前記閉鎖時入賞信号が受信されたと判定された場合に、該遊技機に対する不正行為を監視する不正監視手段を備えていることを特徴とする遊技機の管理手段。

【請求項 2】

前記判定手段は、前記遊技機から受信した信号の受信期間に基づいて、前記閉鎖時入賞信号と前記遊技機が前記特別遊技状態中であることを示す特別遊技信号とを区別して判定するものであることを特徴とする請求項 1 記載の遊技機の管理手段。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0019
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正5】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0020
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正6】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0021
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正7】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0022
【補正方法】削除
【補正の内容】